

学芸大学駅周辺地区整備計画改定について

1 改定の経緯等

学芸大学駅周辺地区では、「にぎわう商店街、オアシス碑文谷公園、閑静な住宅街の広がり、生活を大切にする 安全・安心なまち」を地区の「目指す将来像」として平成19年3月に学芸大学駅周辺地区整備構想を策定した。その後、平成20年3月に整備基本方針を、平成21年3月に整備計画及び交通バリアフリー整備計画を策定した。

さらに、当該地区の大きな課題の1つである「安全・安心・快適な歩行ネットワークの形成」を進めていくため、平成23年3月に「あんしん歩行エリア形成事業計画」を策定し、国の補助制度を活用しながら、計画的に取り組みを進めてきた。

平成29年度に事業実施による効果を検証するため、交通量調査を行うとともに、目黒区実施計画に事業の進め方を掲げたところである。

ついてはこうした状況を踏まえ、まちづくりを取り巻く状況の変化や、これまでの取組実績と効果の検証を配慮しながら今後のまちづくりの方向性を示すとともに、地域の主体的な取組を推進することが求められていることから、平成30年4月より整備計画を改定する取組を進め、このたび、平成31年3月15日に整備計画を改定した。

2 主な経緯

- 平成30年 4月 整備計画改定に向けた進め方 都市環境委員会へ報告
- 10月 改定素案を政策決定会議で決定し、都市環境委員会へ報告
意見募集(平成30年10月15日から11月14日まで)
住民説明会(10月23日)
- 平成31年 1月 整備計画改定案を政策決定会議で決定
- 2月 都市環境委員会へ報告
- 3月 整備計画改定
区報・ホームページにより整備計画改定を周知

3 学芸大学駅周辺地区整備計画(資料1)

4 改定素案に対する区民意見の実施結果について(資料2)

5 改定素案からの主な変更内容について(資料3)

以 上